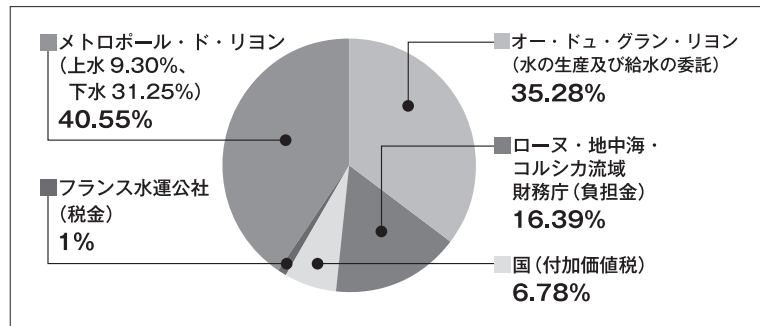


● 上下水道料金の構成割合



ただし、サービスの方針や料金の決定はメトロポールが自ら行う(下水道サービスも行うが、こちらは完全公営のまま)。メトロポールの主な水源はローヌ川により涵養される地下水で、全供給量の91〜95%を占める。水質は極めて良好であるが、給水時には少量の塩素が注入される。飲料水については64の微生物学的および物理化学的水質基準に対する分析が行われており、分析結果は年に1度、水道の請求書とともに顧客に送付される。水質の監督は、各地域圏(レジオン)に置かれている地域圏保健庁(Agence Régionale de Santé: ARS)の所管である。

15 年のデータによると、1人当たり平均使用量は150^{リットル}／日で、内訳は60%が手洗いやシャワー、浴槽などの衛生面に、33%が清掃とその他用途に、7%が飲食などでの摂取となっている。ホームページには家庭でできる節水の方法などが掲載されており、浴槽よりもシャワーを利用しましょう(150^{リットル}に対して60^{リットル})など、日本ではあまり見かけないものもある。15年に1家族(大人2人、子供2人で120立方^{メートル}使用と仮定した場合)が支払った上下水道料金は、1日当たり税込1・01^{ユーロ}、1年換算で368・67^{ユーロ}とされている(368・67^{ユーロ}＝固定料金

□3 メトロポール・ド・リオン^の水道使用量と上下水道料金
物理学的および物理化学的水質基準に対する分析が行われており、分析結果は年に1度、水道の請求書とともに顧客に送付される。水質の監督は、各地域圏(レジオン)に置かれている地域圏保健庁(Agence Régionale de Santé: ARS)の所管である。



旧市街が世界遺産に登録されているリオン市

出典

1. GrandLyon la Métropole. La loi MAPAM. <http://www.grandlyon.com/metropole/la-loi-mapam.html>
2. GrandLyon la Métropole. L'eau de la Métropole de Lyon. http://www.grandlyon.com/fileadmin/user_upload/media/pdf/eau/20150128_gl_guide_eau.pdf
3. GrandLyon la Métropole. Le Tarif de L'eau 2015. http://www.grandlyon.com/fileadmin/user_upload/media/pdf/eau/20150203_gl_eau_tarif_2015.pdf
4. GrandLyon la Métropole. Pourquoi la Métropole de Lyon? <http://www.grandlyon.com/metropole/pourquoi-la-metropole.html>

取水から給水まで 民間に委託



● フランス主要都市の位置



● メトロポール・ド・リオンの上水道

| | |
|------|--|
| 給水人口 | 1,309,878人 |
| 給水件数 | 353,024件 |
| 配水量 | 97,400,000 ^{m³} / 年 |
| 消費量 | 212,600 ^{m³} / 日 |
| 水道料金 | 3.07 ^{ユーロ} / ^{m³} (約408円) |
| 配水池 | 62池 |
| 管路延長 | 5,045km |

多くの日本人にとって、フランスといえばパリである。それゆえ日本語でネット検索可能なフランスの水道情報も、その多くはパリを対象としているように見える。さて、パリの水道については数年前に民間委託からの再公営化が話題となった。こうなると他の事業者の動きが気になる場所である。フランスの水道事情を探る

「メトロポール・ド・リオン」は2015年1月1日に誕生したばかりの地方公共団体である。14年に地方行政効率化に関する新たな法律が公布されたことに伴い、ローヌ県からリオンとその周辺地域が切り離され、

- 公益財団法人 水道技術研究センター 専務理事 安藤 茂 (あん どう しげる)
- 同センター 総務部主任研究員 高橋 邦尚 (たか はし くに ひさ)

多 くの日本人にとって、フランスといえばパリである。それゆえ日本語でネット検索可能なフランスの水道情報も、その多くはパリを対象としているように見える。さて、パリの水道については数年前に民間委託からの再公営化が話題となった。こうなると他の事業者の動きが気になる場所である。フランスの水道事情を探る

「メトロポール・ド・リオン」は2015年1月1日に誕生したばかりの地方公共団体である。14年に地方行政効率化に関する新たな法律が公布されたことに伴い、ローヌ県からリオンとその周辺地域が切り離され、

「メトロポール・ド・リオン」として生まれ変わった。538平方^{キロ}の面積に人口130万人、59のコミューンを数える。なお、フランスの地方行政区画は大きい順から「地域圏(レジオン)」「県(デパルテマン)」「小郡(カントン)」「市町村(コミューン)」となっており、コミューンは最小行政区画であるが、日本のように市町村の区別はなく全てコミューンと呼ばれる。したがって、あるコミューンを市・町・村のどれで呼ぶかは慣習や記者の主観で決まる(唯一パリだけは、県でありコミューンでもあるという特殊な位置づけになっているため、パリ県にあるコミューンはパリ市だけである)。

□2 メトロポール・ド・リオンの上水道
メトロポール・ド・リオン(以下「メトロポール」)では15年2月3日より、ヴェオリアの子会社である「オー・デュ・グラン・リオン(Eau du Grand Lyon)」に、取水、給水、水質管理、施設の維持管理ならびに顧客サービスを委託している。

「メトロポール・ド・リオン」として生まれ変わった。538平方^{キロ}の面積に人口130万人、59のコミューンを数える。なお、フランスの地方行政区画は大きい順から「地域圏(レジオン)」「県(デパルテマン)」「小郡(カントン)」「市町村(コミューン)」となっており、コミューンは最小行政区画であるが、日本のように市町村の区別はなく全てコミューンと呼ばれる。したがって、あるコミューンを市・町・村のどれで呼ぶかは慣習や記者の主観で決まる(唯一パリだけは、県でありコミューンでもあるという特殊な位置づけになっているため、パリ県にあるコミューンはパリ市だけである)。